

令和 6 年度 施政方針

令和 6 年 3 月定例市議会の開会に当たりまして、令和 6 年度に臨む、施政の基本方針を申し上げ、市民の皆様、並びに議員各位のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

（「飯山郷創～世界にひらく 里山の未来～」の実現へ）

私が就任して 2 回目の新年度を迎えます。一昨年 10 月、市長に就任して以来、直面する諸課題の解決に全力を傾けてまいりました。人口減少・少子高齢化が顕在化する飯山市において、議員各位、市民の皆様及び関係団体の皆様等と議論を深めるなか、公約に掲げました「安心して安全な、住みやすい元気な地域づくり」に向けた雪かき支援事業の本格実施、「医療・福祉の充実、出産・子育てしやすい飯山市」では、学校給食費の保護者負担軽減や保育園における使用済み紙おむつの持ち帰り不要化など、「スポーツ・文化・芸術・歴史・伝統を活かした飯山市づくりによる観光振興」では、2028 年国民スポーツ大会開催に向けた準備委員会設立などの取組、「産業振興、事業者支援」では、道の駅グランドオープンや飯山線サイクルトレインの検証実現など、そして「誰もが活躍できる地域づくり」の実現に

向けたジェンダーフリーをテーマとした講演会の実施など、各施策に取り組んできたところです。各施策の展開による成果を、市民の皆様が実感として感じとっていただけるよう、新年度におきましても邁進する所存であります。

市民・事業者・各種団体・行政など、まちづくりに関わるすべての担い手の皆様と問題意識を共有し、一緒に考え、協働でまちづくりを進めていけるよう、取り組んでまいります。

（国、県の状況）

ここで、市政を取り巻く国や県の状況等を申し上げ、ご理解を賜りたいと存じます。

1月26日に閣議決定されました「令和6年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、我が国経済は、コロナ禍の3年間を乗り越え、改善しつつあり、令和6年度の経済見通しにおいては、民間需要主導の経済成長が実現することが期待され、実質GDP成長率は1.3%程度、名目GDP成長率は3.0%程度、また、消費者物価は2.5%程度の上昇率になると見込まれております。

国の新年度予算案は、「歴史的な転換点の中、時代の変化に応じた先送りできない課題に挑戦し、変化の流れを掴み取る予算」とされており、経済

の好循環の起点となる賃上げの実現、「こども未来戦略」に基づくこども・子育て政策、DX・GX等構造的な変化と社会課題への対応等をポイントに、一般会計総額が112兆717億円と、前年度当初比で2兆3,095億円、2.0%減の予算規模となっています。

長野県におきましては、「人口減少の緩和と適応、そして未来への挑戦」として、令和5年度からスタートした「しあわせ信州創造プラン3.0」の本格展開に向けた新年度予算案として、8つの「新時代創造プロジェクト」の具体化に向けた予算を計上するとともに、令和6年元日に発生した能登半島地震も踏まえ、本県において起こり得る大規模地震から県民の生命・財産を守るため、地震防災対策の抜本的強化のための予算が計上されたところです。新年度一般会計予算総額は9,991億円、前年度と比較し465億円、4.4%の減となったところです。

このような状況の下、飯山市においては、令和7年度に開校となる城北小学校の整備をはじめ、防災・減災施設整備などの大型事業、老朽化が進むインフラ施設の長寿命化や2028年国民スポーツ大会開催に向けた取り組み、また、脱炭素の地域づくりや行政DXの推進など、様々な財政需要が見込まれております。事業実施に当たっての裏付けとなる市財政の厳し

い状況に変わりはありませんが、時代の変化に対応する中で、事業の選択と重点配分をすることで、将来にわたり安定した財政運営を維持してまいりたいと考えております。

市民各位、議員各位のご理解ご協力をお願い申し上げる次第であります。

（令和6年度予算案概要と重点施策）

それでは、新年度予算案の特徴と、施策の概要を申し上げます。

予算総額は、一般会計で175億1千万円、前年度比12億4千万円、7.6%の増となり、過去最高の予算規模となりました。

歳入は、市税については個人住民税における定額減税の影響を考慮し、前年度比6千9百万円減の23億2千百万円を計上、地方交付税は前年度比2億7千万円、4.8%増となる59億2千万円計上し、国県支出金のほか、ふるさと納税を活用した基金等の活用、市債等で歳入確保をいたしました。

歳出においては、城北小学校の開校に向けた校舎建設及び周辺道路の整備や併設される児童クラブの整備に係る経費について重点的に予算を計上し、学校給食費負担軽減などの子育て支援や、地域おこし協力隊、集落支援員制度を活用した元気な地域づくりなど、公約に基づく重点政策と第6次総合計画に掲げる基本目標と整合を図りながら、目標達成への着実な推進に重点をおいた予算を編成したところです。

以下、新年度の重点施策に関わる事業について、前期基本計画に掲げる 5 つの基本目標に沿ってご説明申し上げ、市の姿をご理解いただければと存じます。

一つ目は、「美しい自然環境を守り、クリエイトするまち」づくりであります。

自然環境保護に向けた温室効果ガスの排出削減及び 2050 年カーボンニュートラルの実現のため、公共施設照明の LED 化や学校教室における断熱改修実証試験など、脱炭素の地域づくりを進めるため、出来るところから取り組んでまいります。

現在 10 名の隊員で地域課題の解消等に向けた活動に取り組んでいただいております地域おこし協力隊については、新年度内において新たに 20 名を任用し、地域外の人材の知識・経験・感覚を積極的に受け入れ、地域資源の魅力化や付加価値の創出を図ってまいります。

関係人口創出に向けた取組といたしまして、姉妹都市提携 50 周年となる大阪市や、本年 3 月の北陸新幹線敦賀延伸を機に、各都市からの誘客に加え、市民レベルでの交流活動が活性化するよう、準備を進めてまいります。

二つ目は、「未来を拓く子どもたちが育つ共育のまち」づくりであります。

城北小学校の校舎建築工事に併せて、新たに設置する児童クラブや登下校用のスクールバスなどの環境整備に加え、統合後もスムーズに児童が新しい小学校での学校生活が始められるよう、4小学校での交流活動も継続してまいります。

子育て世代支援として令和5年度から段階的に取り組んでおります小・中学校給食費の負担軽減につきましては、新年度から軽減率を現行の4割から5割に拡充し、保護者負担の更なる軽減を図ってまいります。

また、新年度より新たに「飯山市こども女性家庭センター」を設置し、妊娠期から子育て期の不安や困りごとに対応する窓口を一本化し、ワンストップとすることで、市民の皆様が相談しやすい環境を整えてまいります。

三つ目は、「世界に誇れる技術を持ち、産業が活発なまち」づくりであります。

市の基盤産業である農業において、新規就農者支援などにより担い手確保・育成に引き続き取り組むほか、多くの方からおいしいと評判をいただいている飯山産米のブランド化に向け、有機米など健康増進に繋がる米生産への取組研究など、食べる人・つくる人・調理する人など関係する多くの皆様との情報交換や意見交換をする中で、高付加価値化に向けた取組を

推進いたします。

林業につきましても、森林環境譲与税の本格交付を迎えていること、広葉樹の有利販売の可能性も指摘される時代の流れが始まっていることなどを踏まえ、森林・林業・林産業という大きな枠組みの中で、次の時代に向けて勇気をもって振興策を講じていかなければなりません。

以上のような状況に則し、農林業の維持及び振興に向けた法人の設立について、その可否を含めて調査・研究を深め、令和7年度予算において結論をお示ししてまいります。

観光施策としては、東京・大阪でのマスコミ懇談会等、発信力強化による取り組みを通じた誘客促進のほか、インバウンド推進に向けて海外でのトップセールスにも取り組んでまいります。

四つ目は、「一人ひとりが生きがいを持って挑戦できるまち」づくりであります。

誰もが活躍できる場づくり、そして、多様性を認め合う地域づくりに向け、令和7年度を開始年度とする第5次男女共同参画計画の策定を進めます。

2028年国民スポーツ大会の開催に向け、昨年11月末に設立された飯山市準備委員会の活動支援及び競技施設等の整備の検討、また、選手育成及

び競技役員の育成にも取り組んでまいります。

寄贈いただいた絵本を活用した絵本の読み聞かせ会の実施等に加え、市図書館への子どもの絵本の部屋の整備など、多くの方が絵本文化に触れ、絵本をキーワードとした世代や地域を超えた交流拡大に繋がる取組も進めてまいります。

五つ目は、「安全で安心して暮らしを愉しめるまち」づくりであります。

冬期間も不安なく安心して住み続けられる地域づくりを進めるため、雪かき支援事業による除雪困難世帯への支援の継続、また、住み慣れた地域において安心して暮らすための高齢者冬期共同住宅事業の実証試験に引き続き取り組むほか、新たに除雪協力者への小型除雪機等購入に係る補助制度を設け、除雪体制の維持及び新たな担い手の確保を図りたいと考えております。

防災減災に向け、千曲川堤防内水排除設備の設置や災害に備えた備蓄物資及び備蓄倉庫の整備等、災害対策の強化に取り組めます。

以上、新年度の重点施策に関わる事業の概要を申し上げます。

なお、各施策の推進に向けた組織体制の整備として、災害対策、国民保護など、危機管理の総合的な調整・推進を図る危機管理部を新たに設け、

また、農林業の維持・振興、観光業をめぐる急速な環境変化への対応などに向け、現在の経済部を農林部及び商工観光部とし、きめ細やかで迅速な施策推進に取り組んでまいります。

令和6年度は、市制が施行され70周年を迎える節目の年であります。

第6次総合計画の基本構想に掲げる将来のまちの姿「飯山郷創（きょうそう）～世界にひらく 里山の未来～」の実現に向け、「誇りある郷（ふるさと）」として飯山市を発信し、訪れたい・住みたい・暮らし続けたいと思われる「世界に誇れる里山づくり、世界中から訪れたいとなる里山づくり」に取り組んでまいります。

市民の皆様の一層のご協力をお願いするとともに、議員各位のご支援ご協力を心よりお願い申し上げ、所信表明と致します。

令和6年2月

飯山市長 江沢岸生